

放課後の子どもの世界と地域のあり方を考える講演会

「たっちゃん・みっきー・おいちゃんとともに考えよう

子ども目線で考える居場所のある地域づくり

- 心が折れるより骨が折れる方がマシだ！ 気遣い人となって子どもと地域に寄り添おう -

『Better a broken bone than a broken spirit』
(訳) 心が折れるより、骨が折れるほうがマシだ。

こんな言葉を記した看板を掲げている場所が静岡県富士市にある。「NPO法人ゆめ・まち・ねっと」が運営する「冒険遊び場たごっこパーク」という所だ。遊んでいるのか、勉強しているのか、本を読んでいるのか・・・その場に集まる子どもたちは、誰からも縛られることなく、自分であることを決め、時間を思い思いに過ごす。大人たちは子どもたちが生き生きと遊べる環境を保障し、あとはニコニコと眺めているだけだ。

そこに集まる子は、大きな自然と地域の大人たちに見守られ、一人ひとりが「今」を生き、輝いている。



講師

NPO法人ゆめ・まち・ねっと代表
渡部達也 (たっちゃん) 氏、渡部美樹 (みっきー) 氏

日時

2017年 5月15日(月) 18:00~19:30

場所

弘前大学生涯学習教育研究センター多目的室 (人文社会学部棟3階)
※ 総合教育棟310教室に変更になるかもしれません

参加費

無料

対象

大学生・子どもの居場所や子ども支援に関心のある方

《主催》 学生・教員研究会「らぶちる-Love for children」

弘前大学生涯学習教育研究センター

《協賛》 松本大研究室、宮崎秀一研究室

《問い合わせ先》 takurou@hirosaki-u.ac.jp TEL: 0172-39-3147 深作